

整理番号	46-2	事務事業名	(青少年健全育成事業) 青少年健全育成振興事業	作成部署	生涯学習部 青少年課	電話	内線607
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 山内平一郎	課長職名	川原一志	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和40年代	根拠法令等					
"終了予定年度"							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	高度経済成長期に入り、核家族化が進み家族の絆が薄れ、また地域の結びつきも同様な状況となり、青少年を育む環境が急激に変化した。この環境の変化に家庭、地域とも追従できず、青少年が予想もされない問題を起こすようになり、これに対処するためこの事業を開始した。						

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連 (総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	青少年の健全育成振興事業	(第6施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	青少年の健全育成に関係する者及び一般市民	
	意図 (何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	青少年健全育成問題の啓発を行い、学校、PTA、自治会、関係団体との連携を強め、地域に密着した青少年健全育成活動を目指す。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	青少年健全育成大会及び青春メッセージの開催
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	128	112	118	118
	合計	128	112	118	118
人件費 (概算)	人数(年間)	0.51	0.94	0.94	0.94
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	4,590	8,460	8,460	8,460
総事業費 +		4,718	8,572	8,578	8,578

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指標	指標(算式)	指標値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	青少年健全育成大会参加者数(人)	100	103	100	100
	青春メッセージ参加者数(人)	100	300	300	300
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	大会参加者数(人)	200	403	400	400
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人当たりコスト(単位:円)	23,590	21,270	21,445	21,445
	(総事業費 / 参加者数)				

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等  
 近年、青少年による思わぬ犯罪が増加し、大きな社会問題となっている。この原因として、家庭や地域が取り組む青少年に対する教育が弱体化しているという指摘がある。今後、全市一丸となって青少年の健全育成に取り組む政策が必要となる。

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在は、行政中心で進めているが、市民の意識をより高め、地域や市民が中心となって実施する体制の構築が課題となっている。	青少年の健全育成は家庭、学校、地域が一体となった取り組みが必要である。これらの連携を強め、「地域の子どもは地域で育む」体制を検討する。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	青少年の健全育成は教育問題の一つの大きな柱となっており適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	各地域の組織と行政との協働による活動が必要となっている。	各健連協の育成支援と連携を図り、健連協による立案運営を行える体制を検討する。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	参加者数や参加団体の増加対策が必要。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	大会に要する経費は、用紙等の僅かな消耗品であり、概ね効率的に実施している。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	参加する団体を多くするとともに、青少年健全育成連絡協議会主催による実施を検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	本事業の目的に対する成果を向上させるためには、行政だけでは限界があり、地域、市民、学校、関係団体などとの協働が不可欠であり、今後も連携の強化や体制の整備に努める。